



Sustainability Report

サステナビリティ報告書

2022



DM三井製糖ホールディングス株式会社

DM三井グループの企業理念

姿かたちを変えながら一生に寄り添い、
幸せの時を広げる。

「おいしい」「たのしい」「うれしい」

人が生きている幸せを実感する時、そばにいたい。

DM三井グループは、事業の源である自然への感謝を忘れずに、

その恵みを様々な姿かたちにして広く社会に届けたい。

幸せの時が広がる未来にずっと貢献できるグループ企業へ。

私たちは、一歩ずつ挑戦していきます。

幸せのちからになる



Contents

- 3 「幸せのちからになる」ためのストーリー
- 5 トップメッセージ
- 7 三井製糖と大日本明治製糖の経営統合
- 9 サステナビリティ基本方針
- 10 重要課題&特定プロセス
- 11 お客さまのために
- 15 環境のために
- 19 社会のために
- 23 コーポレート・ガバナンス
- 25 DM三井グループの事業概要
- 27 ファクトデータ&総括コメント
- 30 財務情報

編集方針

本報告書はDM三井グループの主なサステナビリティ活動について、全てのステークホルダーの皆さまにお伝えするとともに、活動を更に向上させていくことを目的に発行しています。

2022年10月に三井製糖株式会社と大日本明治製糖株式会社が合併し、新たにDM三井製糖株式会社として始動しており、2021年度の活動実績は「お客さま」「環境」「社会」という3つのカテゴリに分けて、両社の取り組みを可能な限り統一した上で併せて開示しています。

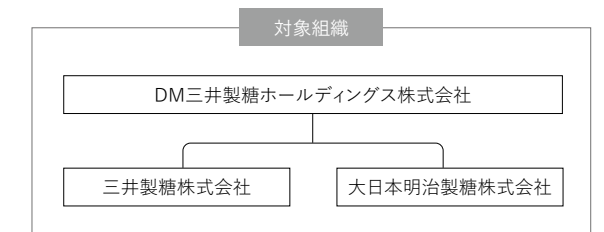
DM三井グループは、これからも食を支える砂糖のトップブランドとして、お客さまのため、環境のため、社会のための活動に取り組んでいくとともに、積極的な情報発信を行ってまいります。

対象期間：2021年4月～2022年3月

(一部の取り組みに関して最新のものに掲載)

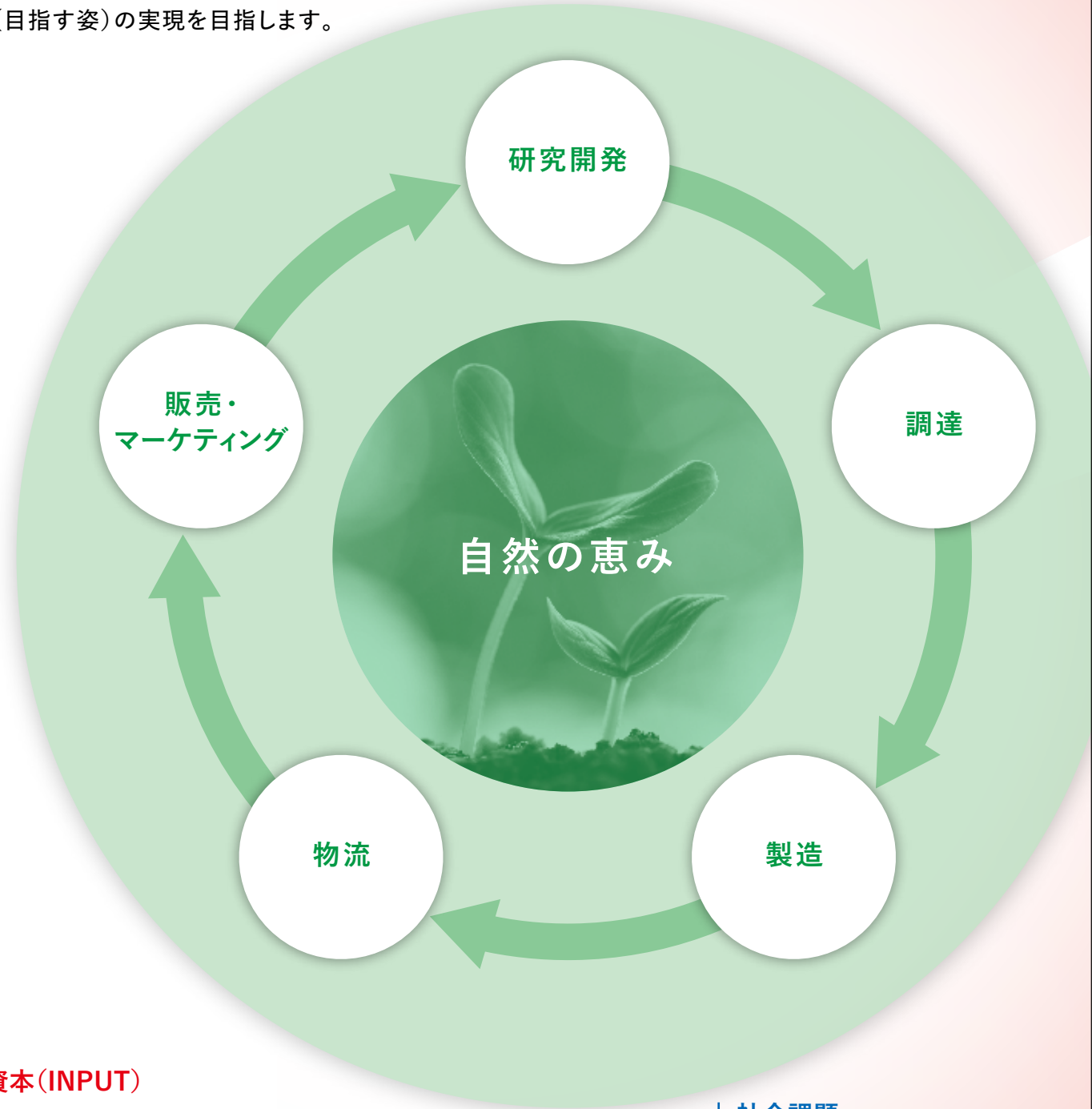
対象組織：DM三井グループ

(DM三井製糖ホールディングス株式会社、三井製糖株式会社、大日本明治製糖株式会社)



「幸せのちからになる」 ためのストーリー

DM三井グループでは、自然の恵みをもとに、成長を支える経営資本を活かしてバリューチェーンを強固にしつつ、5つ（環境・人・幸せ・健康・地域社会）の寄り添いを通じてVision（目指す姿）の実現を目指します。



経営資本 (INPUT)

- ▼ 知的資本
新たな価値を創造する研究開発
- ▼ 社会・関係資本
信頼あるブランド力
食品業界を網羅する販売ネットワーク
- ▼ 自然資本
自然の恵みによる天然素材、水資源

- ▼ 製造資本
日本国内に広がる生産拠点と安定した供給力
アジアを中心とした生産・販売ネットワーク
- ▼ 財務資本
健全な財務基盤
- ▼ 人的資本
働きやすい職場環境

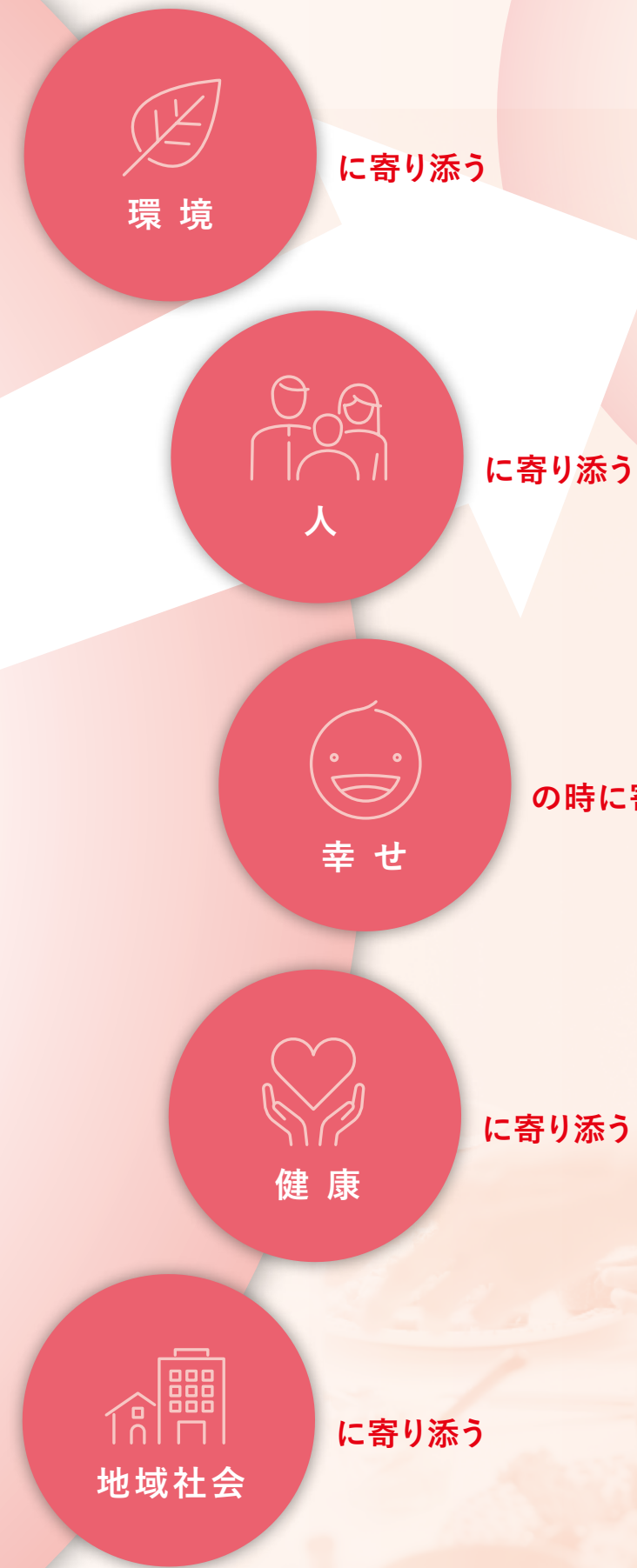
社会課題

- ・ 貧困と飢餓
- ・ 気候変動と資源不足
- ・ 国内人口減少、高齢化社会
- ・ 地域経済の再興
- ・ 新たな食の在り方の広がり
(生活様式の多様化)

Vision

目指す姿

人と社会の幸せの
ちからになるために
必要とされる栄養と健康の
ソリューションをお届けする
企業グループを目指す



Top Message

トップメッセージ

私たちの目指すもの

私たちDM三井グループは、「姿かたちを変えながら一生に寄り添い、幸せの時を広げる。」を企業理念として掲げ、サトウキビやてん菜など、私たちの事業の源である自然の恵みへの感謝を忘れずに、人が生きていることの幸せを実感する時に常にそばに寄り添いながら、その恵みを様々な姿かたちにして広く社会に届けることを目指しています。

5つの寄り添い

沖縄、鹿児島、離島や北海道、そして海外ではタイやオーストラリアの緑豊かな大地で農家の皆さまが心を込めて育てたサトウキビやてん菜を使わせて頂き、私たちは環境に配慮しながら安全・安心な砂糖を製造しています。そして、その砂糖から生まれた美味しいスイーツや美しく繊細な和菓子、風味豊かな様々な料理が、親しい友だちとの楽しい語らいの場に笑顔届け、家族団らんの食卓を彩り、日本の食文化を支えています。

また、私たちがお届けする「パラチノース®」などの機能性素材が、eスポーツの選手をはじめアスリートたちの勝負へのエネルギー源となっていること、嚥下サポート食品や栄養補助食品が、シニアの方々に笑顔溢れる豊かな食生活を提供し健康寿命の延伸に貢献しています。さらに、南米ボリビアの農地からはるばる届けられるスーパーフード「キヌア」で、食卓の一皿に多彩な栄

養素を添え、私たちの研究陣が日々研究を重ねている様々な糖質やタンパク質、機能性素材が、直接・間接的にフードテックの発展に寄与しながら食の未来を切り拓いています。

私たちが原料とする様々な農産物が、国内外の農村経済を支え、国内やアジアに展開する多数の製造拠点が雇用を生み出し地域経済を活性化させること、これら数々の日々の営みを、「5つの寄り添い」、「環境に寄り添う」、「人に寄り添う」、「健康に寄り添う」、「地域社会に寄り添う」、そして「幸せの時に寄り添う」と表現し、私たちの「サステナビリティ基本方針」としました。

持続可能な社会の実現を目指して

これら5つの「寄り添い」を通して、私たちは、地球や社会、そして世界中の人々の抱える様々な課題の解決を図りながら新たな価値を生み出し、持続可能な社会の実現を目指して行きたいと考えています。また、このサステナビリティ基本方針のもと、「重要課題」として、気候変動問題、水資源問題、廃棄物問題、地域経済の発展、人権の尊重、労働安全衛生の強化、ダイバーシティ&インクルージョン、食品安全の徹底、健康促進・栄養改善、糖分過不足による健康阻害の10項目を特定しました。私たちが事業活動を通じて、これらの課題を一つひとつ真剣に且つ真摯に解決していくことが、全てのステークホルダーの皆さまから私たちが認められそして必要とされる、すなわち私たちのDM三井グループとしての存在意義だと考えています。

サステナビリティ報告書に込めた思い

2021年4月1日に発足した「DM三井製糖ホールディングス」として作成するはじめての「サステナビリティ報告書」です。2021年度の私たちのサステナビリティ経営上の様々な取り組みについて、主に中核事業会社である三井製糖*と大日本明治製糖*を中心にご紹介しています。

経営統合して初年度であり、サステナビリティに関するグループとしての活動はまだ緒に就いたばかりですが、本報告書を通じて、より多くのステークホルダーの皆さまに私たちの活動についてご理解を頂き、サステナビリティ経営の更なる深化に向けて、一層のご理解とご支援、ご指導を頂ければ幸いです。

私たちは、幸せの 때가 広がる未来にずっと貢献できる企業グループを目指し、皆さまの「幸せの ちからになる」ために、挑戦を続けてまいります。

※三井製糖株式会社と大日本明治製糖株式会社は、2022年10月1日に合併し、「DM三井製糖株式会社」となりました。

DM三井製糖ホールディングス株式会社
代表取締役社長CEO 森本 卓



企業理念

姿かたちを変えながら一生に寄り添い、
幸せの時を広げる。

「おいしい」「たのしい」「うれしい」
人が生きている幸せを実感する時、そばにいること。
DM三井グループは、事業の源である自然への感謝を忘れずに、
その恵みを様々な姿かたちにして広く社会に届けたい。
幸せの時が広がる未来にずっと貢献できるグループ企業へ。
私たちは、一歩ずつ挑戦していきます。

幸せのちからになる

DM三井製糖ホールディングス

行動指針

— 人と社会の幸せのちからになるために —

Pioneer spirit	過去や既成概念にとらわれず、新しい道を切り拓きます。
New every day	日々、それぞれの自己ベストの更新を目指します。
Diversity and inclusion	多様な価値観を尊重し、一人ひとりの個性を活かします。
Safety and trust	安全・安心を最優先し、信頼を育みつづけます。
Integrity and appreciation	感謝の気持ちを、誠実な態度と言葉で伝えます。
Think happiness	幸せとは何かを問い、答えをかたちにしていきます。

2022年1月31日制定

企業理念、行動指針制定経緯

2021年4月、三井製糖と大日本明治製糖の経営統合により誕生したDM三井製糖ホールディングスの始動とともに、新しい「企業理念」を制定しました。この新しい企業理念は、未知なる変革に挑む社員全員の心の拠り所として、グループ企業価値をさらに向上させるための道標です。



企業理念制定に向けた社員ワークショップ

制定にあたっては、経営層へのヒアリングや幅広い年代・職種から選抜した社員ワークショップを実施し、また、全社員アンケート等により広く意見を集約することで、グループ全体の将来像や、砂糖だけでなく食そのものを中心とした幸せをつくる力、人の一生に寄り添える企業としての方向性などを確認し合いました。

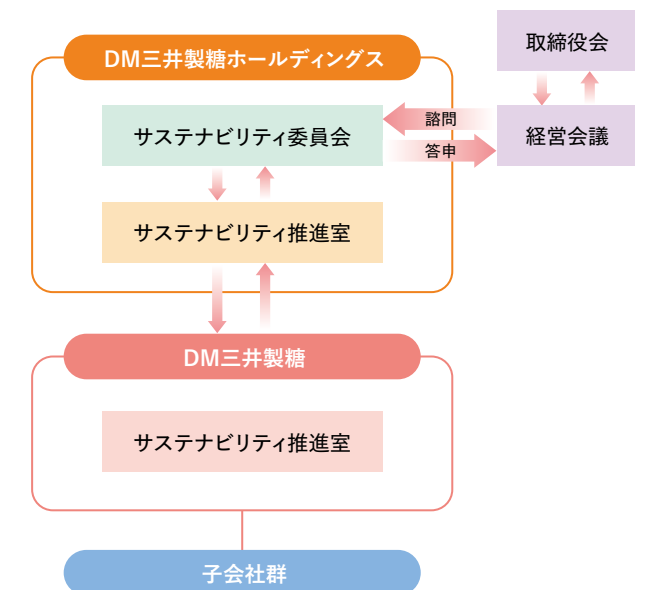
2022年1月には、この企業理念の実現に向けて、必要な行動原則や判断基準を可視化するものとして「行動指針」を制定しました。これは、DM三井グループの一員として推奨される行動につき共通の認識をもち、自らが向かう方向を明確にし、かつ、あるべき姿の規範となるものです。企業理念の具現化に向けたキーワードを抽出し、覚えやすくグローバルにも伝わりやすい英語と、その意味をしっかりと伝える日本語を組み合わせる形で表現しております。DM三井製糖ホールディングスは、この「企業理念」を実現し、「行動指針」を遵守することを、すべてのステークホルダーに宣言します。

サステナビリティ推進体制

DM三井製糖ホールディングスは、サステナビリティを巡る課題への対応がリスクの低減かつ企業の成長にもつながる重要な経営課題と認識しています。サステナビリティ経営体制を一層推進させるため、代表取締役社長を委員長とし、委員に社外取締役、外部有識者を含むサステナビリティ委員会を2021年11月に設置しました。2022年4月には、「サステナビリティ基本方針」を策定すると共に重要課題を特定し、ウェブサイトで開示しています。

今後、当委員会と共に設置しましたサステナビリティ推進室が中心となり、特定した重要課題の具体的な施策に取り組むとともにTCFD提言に賛同すべく気候変動に係るリスクと機会についてのデータ収集・分析を進めてまいります。なお、実践した活動と今後の計画については定期的に取締役会にて報告を行い、持続的な成長に資するよう取締役会で議論のうえ、評価・改善を行ってまいります。

また2022年10月には三井製糖と大日本明治製糖が合併し、DM三井製糖が発足しました。DM三井製糖にも新たにサステナビリティ推進室を設置し、今後は新体制のもと、DM三井グループ一丸となって様々な課題に取り組んでまいります。



2022年10月1日現在

サステナビリティ基本方針



5つの「寄り添い」で持続可能な社会の実現を目指す

私たちDM三井製糖ホールディングスは、事業の源である自然への感謝を忘れずに、その恵みを様々な姿かたちで広く社会に届けます。

企業を取り巻く地球環境や社会の課題に真摯に向き合い、5つの「寄り添い」をつうじて、その解決を図りながら新たな価値を生み出します。

そして、現在と未来の笑顔にずっと貢献できる企業として、皆さまの「幸せのちからになる」存在を目指します。

重要課題&特定プロセス

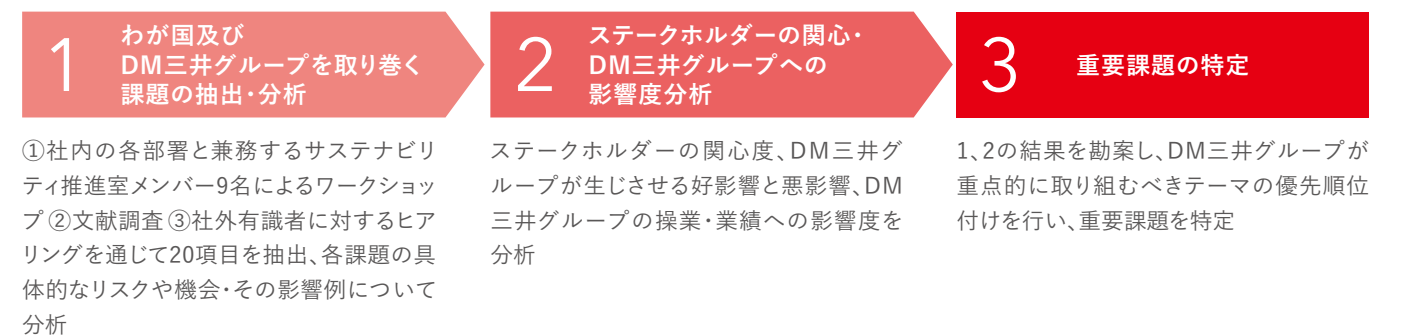
重要課題

DM三井製糖ホールディングスでは、持続可能な社会の実現への貢献とグループの持続的な成長のために、以下の10項目を重要課題として特定しました。



重要課題の特定プロセス

重要課題(マテリアリティ)の特定にあたっては、以下の3つのステップで検討しました。社内の各部署と兼務するサステナビリティ推進室によるワークショップを中心に文献調査、社外有識者に対するヒアリングを通じてマテリアリティ項目を抽出、ステークホルダーの関心度・DM三井グループへの影響度分析を行うなど、幅広い視点から検討を行いました。



重要課題の特定&マッピング



Customer

お客さまのために

暮らしに欠かせない砂糖や食品素材を安全・安心・高品質で供給すべく、グループ一丸となって取り組んでいます。また、お客さまからいただいた声に真摯に耳を傾け、商品改良につなげていきます。

「お客さまのために」の事業活動と関連の深いSDGs



Key Numbers

No.1

精糖工業会加盟の上場会社
2022/3月期連結売上高比較



売上

砂糖商品
108 アイテム

2022年10月現在
※三井製糖と大日本
明治製糖の合算値



生産拠点

3 カ国 **17** 拠点

精製糖工場、てん菜糖工場、甘蔗糖工場の合計（DM三井グループの1工場を1拠点としております）

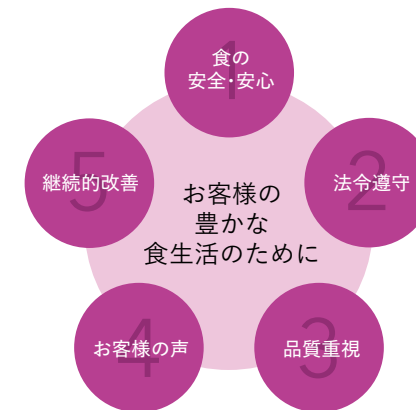


お客さま満足度

94%

2021年度「お客さま満足度アンケート」にて「満足」「まあ満足」を選択されたお客さまの割合
※三井製糖の数値

DM三井グループ 品質方針



基本理念

わたしたちは、安全・安心でお客様にご満足いただける商品・サービスをお届けし、豊かな食生活に貢献します。

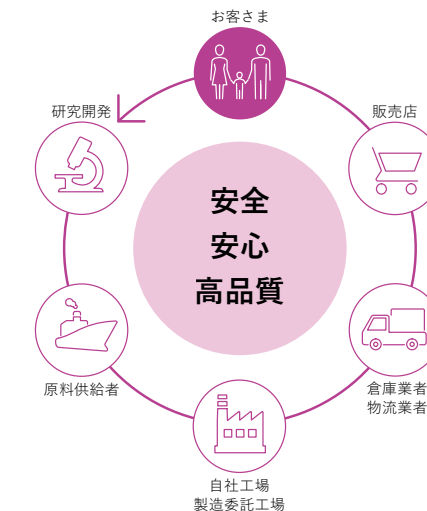
お客様相談窓口と お客様満足度向上のための取り組み

お客さまからいただいた声は、個人情報セキュリティ管理のもと、独自のシステムに全て入力し社内で共有し、関連部署とのタイムリーな連携が可能となっています。お客さまに安心して商品をご利用いただけるよう、迅速・丁寧かつ誠実な対応で正しい情報提供に努めています。また、お客さまの声を整理・分析して、社内にて毎週配信し、VOC (Voice of Customer) 検討会・品質推進会議等で役員・関連部署と共有して、よりご満足いただける商品・サービスの開発や改良につなげています。

お客様相談窓口では、お客さまによりご満足いただけるよう、各種のお客さま対応研修を行っています。商品知識・商品開発や個人情報保護法等の関連法令を知る勉強会のほか、実際のお客さまとの会話の対応を評価・分析し、フィードバックすることで対応の改善につなげています。また、2015年から役員・

DM三井グループ クオリティチェーン

食品を扱う企業にとって最も大切な安全・安心・高品質を常に徹底するため、全社的な品質保証体制を構築し「DM三井グループのクオリティチェーンの各段階で一人ひとりが品質への責任を果たす」という基本姿勢をグループ全体で共有しています。



従業員を対象に「お客様の声モニタリング会」の活動を行っています。参加者は、お客さまの視点に立ち「お客さま満足」について活発な意見交換を行い、商品・サービスの改良につなげています。また、ご指摘をいただいたお客さまを対象に「お客さま満足度アンケート」を実施しています。ご回答いただいたアンケートの結果を真摯に受けとめて、お客様相談窓口対応の品質向上に取り組んでいます。

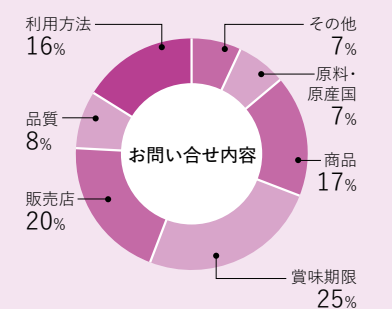
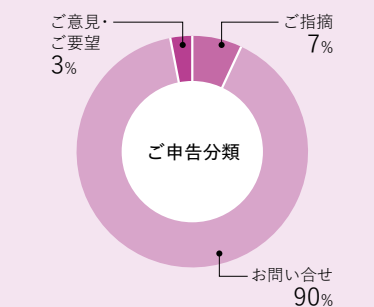
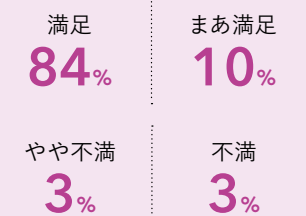


三井製糖でのモニタリング会の様子

お客さま満足度アンケートの結果

2021年度

今回の対応にお客さまはご満足いただけましたでしょうか



※三井製糖お客様相談窓口の数字となります

DM三井グループとしての品質の取り組み

DM三井グループは、「DM三井グループ品質方針」を掲げ、グループ全体で、安全・安心・高品質な食品の提供に努めています。

三井製糖の開発・生産・物流・品質保証部門ではISO9001^{※1}の認証取得を進め、自社砂糖工場の千葉工場・神戸工場・福岡工場ではFSSC22000^{※2}を認証取得し、日頃から品質向上・食品安全の強化に努めています。

また、国内外のグループ会社では前述の3工場を含む全23の食品工場のうち18工場がFSSC22000を取得しており、残りの5工場はISO9001やJFS-B^{※3}といった国際的な品質や食品安全の認証を取得しています。

三井製糖のグループ会社では、年に1回グループ各社の品質保証関係実務者が集まり、「三井製糖グループ品質保証連絡会議」を開催してきました。2021年度はオンライン会議形式で開催し、グループ会社の品質リスク評価の報告、法令や通知で公開されていない行政見解の共有、クレーム対応に関するセミナーを行いました。

大日本明治製糖はグループ会社の

DM三井グループの食品安全・品質認証取得状況

国内外グループ食品工場		23工場
食品安全認証	FSSC22000 JFS-B	18工場 1工場
品質認証	ISO9001	14工場
(FSSC22000とISO9001の両認証取得)		(10工場)

- ※1 ISO9001:製品・サービスの品質向上と顧客満足の上昇を目的とする国際規格のこと。
- ※2 FSSC22000:食品安全認証財団FFSC (Foundation for Food Safety Certification)が開発・運営している食品安全のための国際規格のこと。
- ※3 JFS-B:JFSM(一般財団法人食品安全マネジメント協会)が開発・運営している食品安全の規格で、GFSI(世界食品安全イニシアティブ)の中小規模事業者向け食品安全の取り組み向上プログラムに準拠。

砂糖共同生産工場と品質保証会議を定期的実施し、品質や食品安全の向上に取り組んできました。

また、三井製糖と大日本明治製糖の品質保証部は、国内外のグループ各社の状況に応じてそれぞれ協議や提言を行ってきました。DM三井製糖の品質保証部は、これまでの活動を継続し、グループ各社の品質保証体制向上に資する取り組みを行っています。



三井製糖グループ品質保証連絡会議の様子

お客さまのニーズに合わせた商品の開発

お客さまのニーズに合わせた商品づくり



上白糖 400g
サツと使える砂糖ボトル260g

チャック付きスタンド袋に入った400gシリーズは、従来の砂糖の不満点(開けづらい、再封できない、多すぎる、など)を解消した商品としてご好評いただいています。さらにサラサラのブラウンシュガーが片手で振り出せるボトルに入った「サツと使える砂糖」(ボトル入り260g・詰め替え用200g)も発売しています。

生活者とのコミュニケーション

三井製糖ではTwitterとInstagramを中心に情報発信し、新製品や季節のレシピ紹介、簡単なクイズなどでコミュニケーションを図っています。

2022年にはバンダイのガシャポン(カプセル玩具)で「スプーン印ミニシャカシャカチャーム」が発売され、話題になりました。購入した人が続々とSNSに投稿し、拡散していきました。砂糖を使用する機会が少ないと思われる若年層にとっても「スプーン印」は昔からキッチンにある調味料として愛着があり、懐かしくてかわいいレトロブームも追い風となったようです。Twitterで行ったプレゼントキャンペーンにも多くの応募がありました。

パッケージから情報発信

砂糖のパッケージの裏には、お客さまに発信したい情報をわかりやすく記載しています。たとえば砂糖の原料や、固まった場合のほぐし方や保存方法となります。お問い合わせの多い賞味期限については目立つようにレイアウトするなど、お客様相談窓口と相談し、改良を重ねています。また、おすすめレシピも掲載し、商品ごとに特性を活かしたレシピでは、事前に試食して決めています。

定められた食品表示では、原料原産地表示や栄養成分表示、製造者の情報などを記載し、内容は社内で何重ものチェックをしています。



上白糖パッケージ裏面

ZUNOUP

2022年5月より三井製糖オンラインショップと楽天市場にて、取り扱い素材であるパラチノースを配合したタブレット「ZUNOUP(ズノアップ)」の販売を開始しました。三井製糖ではこれまでに、パラチノースが持続的なエネルギー源として生命活動を支えること、また食後の集中力の欠如や眠気を抑えることを研究してきました。ZUNOUPは、仕事・勉強・eスポーツなどで長時間集中したい時のエネルギー補給として、手軽にパラチノースを摂っていただけるよう開発したレモン味のタブレットです。ビジネスパーソンや受験生向けに販売促進を行う一方で、日本の課題でもある働き方改革・生産性向上として糖質が寄与できる取り組みに広げたいと考えています。



ZUNOUP(ズノアップ)

スプーン印ミニシャカシャカチャーム



Environment

環境のために

事業基盤である「自然の恵み」を守るため、DM三井グループは環境パフォーマンスの向上を図ります。持続可能な社会の実現に向けて資源の有効活用や生物多様性保全活動にも積極的に取り組んでいきます。

「環境のために」の事業活動と関連の深いSDGs



Key Numbers



中長期目標

DM三井グループでは、ISO14001環境マネジメントシステムを活用しながら、環境負荷低減や環境へ配慮した活動を全社で取り組んでいます。特に、生産拠点(精製糖工場)において使用する総エネルギー量の削減などに精力的に取り組んでいます。

DM三井グループは「2050年度までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする、カーボンニュートラル」を最終目標とし、中間目標として、「2030年度までにCO₂排出量を、46%削減(2015年度比)」を掲げています。

今後は、生産拠点のみならず輸送面も加味した長期的かつ高水準なCO₂削減を目指すとともに、生産設備の省エネ推進にも取り組み、更なる持続的な環境負荷低減を実現してまいります。

環境宣言

基本理念

三井製糖は、豊かな環境のもとで生育するサトウキビなど自然の恵みをベースに事業展開しております。この豊かな恵みが、将来にわたって享受できるように環境との調和を図り、健全な自然を次世代に引き継ぎ、持続的発展が可能な社会の実現に貢献します。

行動指針

- 1 当社は、その全ての企業活動で地球環境に影響を与えていることを認識し、環境マネジメントシステムや環境保全施策を継続的に改善し、環境パフォーマンスの向上を図ります。
- 2 環境関連法規・協定等を順守すると共に、必要に応じて自主管理基準を設定し、管理レベルの向上を図ります。
- 3 原材料の調達から生産・物流・販売・消費・廃棄に至るすべての段階において、地球温暖化ガスの削減や廃棄物の削減・リサイクルを通じた環境負荷の低減に取り組みます。
- 4 環境に配慮した商品開発や資源の有効活用を努めると共に、再生可能エネルギーの活用を図ります。
- 5 環境教育を通じ、役職員の環境意識の向上を図り、環境と調和の取れたライフスタイルを志向するとともに、地域環境に貢献していきます。
- 6 関係会社および資材の調達先等の取引先において、環境問題への取り組みを促し、支援活動を図ります。
- 7 企業活動による生物多様性への影響を認識し、保全に繋がる活動に取り組んでいきます。
- 8 情報開示を促進し、企業市民として地域や社会との関わりを積極的に図ります。



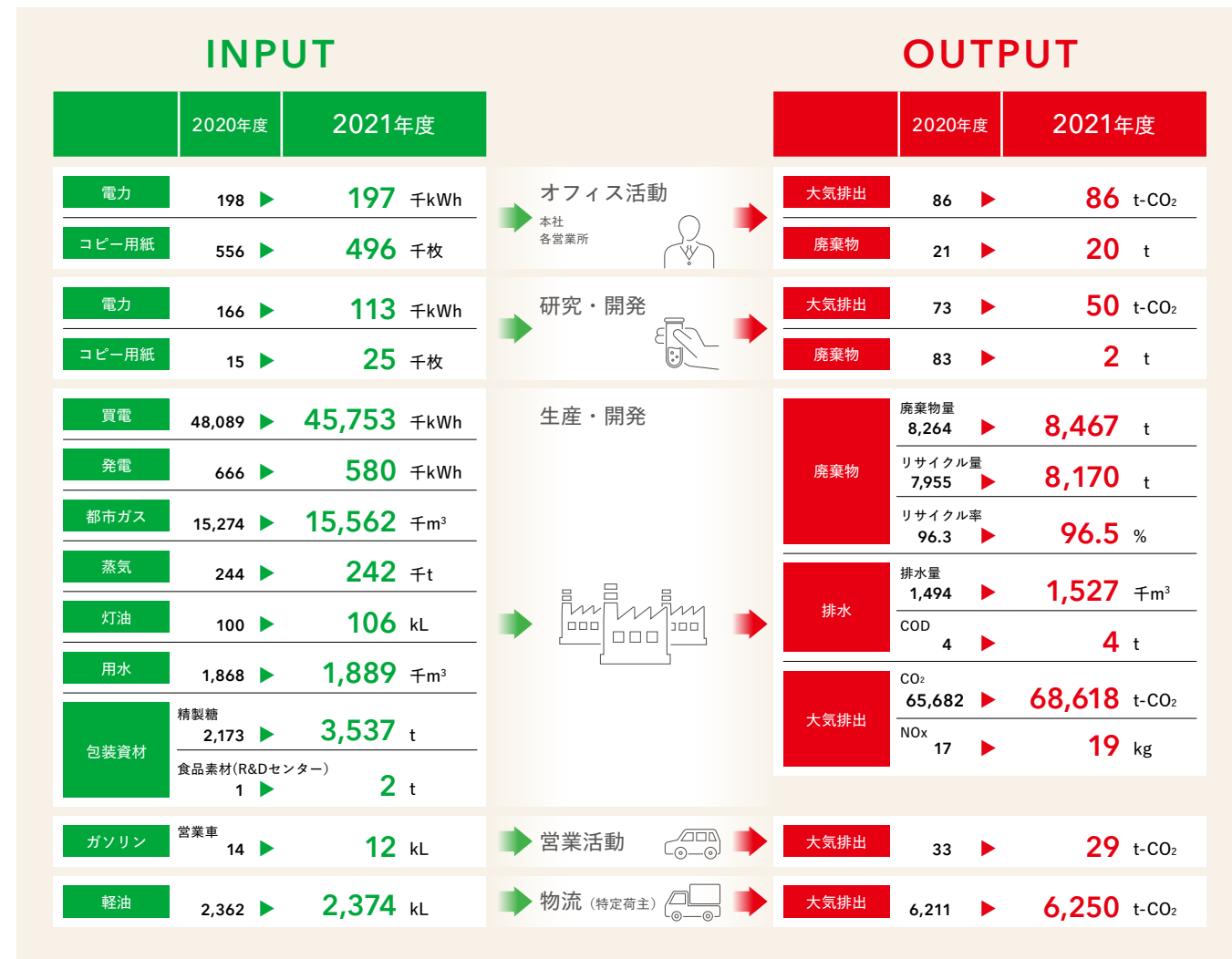
Eco News!

「国産てん菜糖クラフト250g」のリニューアルに取り組み中です

国産てん菜糖は北海道産てん菜由来原料を使用し、てん菜特有の風味を有する砂糖です。今回、パッケージを「紙マーク」に変更し、バイオマスインキを採用しました。また、シリーズとして沖縄産原材料100%の「国産さとうきび糖」も、同様に紙マークのクラフトパッケージで販売を開始しました。



三井製糖のエコバランス (2021年度)



Eco Topics-1

三井製糖の取り組み

地元NPO法人と協働した徳之島での生物多様性保全活動

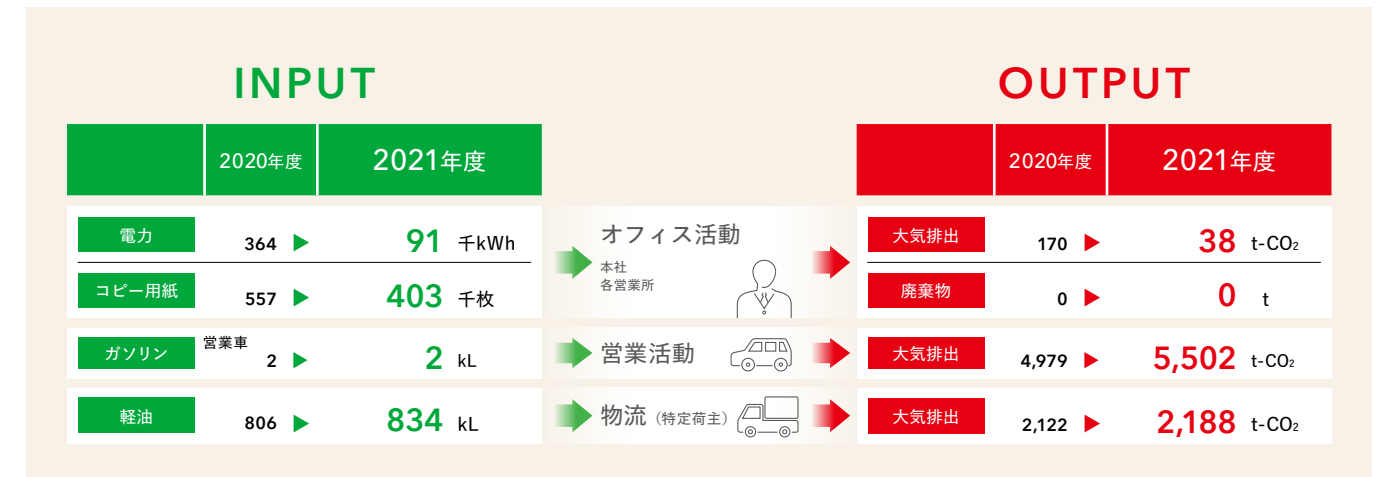
DM三井グループの砂糖事業の根幹にはサトウキビ産業があり、産業と共生した自然を守ることが社会的責任の一つと考えています。三井製糖はサトウキビ産業と関わりが深く、貴重な固有種が数多く生息する鹿児島県徳之島で、地元NPO法人「徳之島虹の会」と協力しながら島民の環境教育を主とした生物多様性保全活動を2012年度から10年間以上取り組んでいます。

2021年度は徳之島の世界自然遺産登録、住民に対する自然・保護環境への意識向上を目的に宝ランド祭りの開催を支援しました。島内外から約1,500名の方が参加するとともに、徳之島の自然に関する講和や自然を学び世界へ伝えていくといった「世界の宝を守る島人宣言」が実施されました。

上：世界の宝を守る島人宣言、下：宝ランド祭り会場



大日本明治製糖のエコバランス (2021年度)



Eco Topics-2

大日本明治製糖の取り組み

全社員参加を目標としたSDGs活動

2020年10月より社員へのSDGs浸透を目標とした「SDGsだより」を毎月発信しています。サステナビリティに関連したニュースは勿論、季節に纏わる話題から社内のエコ活動やボランティア活動などの情報を、毎月テーマを決めて届けています。時々、各部署から発信の「私たちのSDGsへの取り組み」もあります。

また2021年度には、アプリを使用した全社員参加型のウォーキングイベントを開催しました。イベントに参加することで健康を促進し、歩数実績に応じて寄付が出来るのも社員の励みになります。集まった寄付金は投票により寄付先を決定しています。楽しく、健康にもなるウォーキングで社会貢献が出来ることを身近に感じられる活動になりました。

毎月発行しているSDGsだより



Eco Topics-3

大日本明治製糖の取り組み

毎日の生活から、積み重ねていくSDGs活動

2020年よりSDGs活動の1つとして使用済切手、エコキャップなどの回収活動を始めました。普段何気なく捨ててしまっている物の価値を再認識するきっかけとなっています。回収した使用済切手、エコキャップは、必要としている団体へお渡しして様々な社会貢献活動に役立てていただいています。また、年末には、カレンダーや手帳なども必要としている団体に届けて使っていただいています。

地道な活動ではありますが、社員一人ひとりが積極的に協力しています。この小さな取り組みも大きな意味があると考えています。



回収した使用済切手

Society

社会のために

食育を始めとする様々な“食”への取り組みや社会貢献活動を継続して行っています。また、社員に対しては心身の健康管理の維持・向上に努め、一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくりを進めています。

「社会のために」の事業活動と関連の深いSDGs



Key Numbers

育児休業復職率
100%
2021年度
※三井製糖と大日本
明治製糖の合算値

女性管理職比率
9.5%
2021年度
※三井製糖と大日本
明治製糖の合算値

食育セミナー受講者数
3,120名
2014年度から延べ人数
※三井製糖の数値

定年再雇用率
89%
2021年度
※三井製糖と大日本
明治製糖の合算値

食への取り組み

三井製糖の取り組み

大日本明治製糖の取り組み

おうちで学ぶ食育 親子向けオンライン生産地セミナー

砂糖は人の身体や心にはなくてはならない重要な栄養素であることを学んでもらうために、食育授業を毎年実施しています。今年は北海道のてん菜から作られる砂糖をテーマに、てん菜農家の方を講師としてお招きし、オンライン配信いたしました。全国から約70名以上の方が参加し、前半はてん菜の種まきから収穫までを写真を交えて紹介し、後半は砂糖の種類や製造工程を解説しました。子どもたちからは、てん菜の畑の広さに驚いた、「しっとり」、「もちもち」など砂糖の調理効果や役割を理解できたという感想をいただきました。これからも毎日の食に使用される砂糖の正しい知識を、楽しく伝える取り組みを継続していきます。



オンライン生産地セミナーの様子

ベルマーク運動への協賛

三井製糖は、前身の1つである大阪製糖(当時はハト印)時代の1962年から現在までの約60年間、ベルマーク運動に協賛会社として参加しています。子どもたちのため、そして援助を必要としている方々の教育向上のために協力を続け、多くの保護者の方から「スプーン印はベルマークの砂糖」というお声をいただくようになりました。

そしてこのたび仲間入りした「ばら印」の砂糖にも、ベルマークを印刷します。これからはベルマークを通じて、未来を築く子どもたちを応援してまいります。



ベルマークを印刷した商品

石垣島サトウキビ生産体験

2019年から全社員参加を目指した、「石垣島サトウキビ生産体験研修」を実施しています。毎回、定員を超える希望者があり、グループ会社である石垣島製糖の協力のもと、苗の植付けやサトウキビの収穫などを全て手作業で行います。

サトウキビ農家の皆さまのご苦勞を肌で感じ、併せて島の風土や文化にも触れ、貴重な体験となっています。研修後は社内では報告会を開催し、活発な意見交換も行われています。



サトウキビ生産体験の様子

地域社会への支援活動

ばら印の砂糖が多く販売されている九州地区の中でも、北九州市はSDGs活動に積極的に取り組んでいます。西部支社では北九州SDGsクラブへ2019年に入会し、市内全域の子ども食堂へ砂糖の寄贈、社会福祉協会を通じて施設へお菓子やクリスマスケーキを贈っています。地域社会に密着した活動は子ども達への「幸せのちからになる」と考えています。



「子ども食堂」への砂糖寄付の様子

石垣島トライアスロン大会への協賛

2021年4月、日本全国から約1,000名が参加する「石垣島トライアスロン大会」への協賛を行い、参加者全員へ石垣島の美味しいお砂糖を配布しました。島内でのサトウキビ産業の重要性を参加者の皆さまに知って頂くとともに、島内の農家のみなさまには、大切に育てたサトウキビが消費者の皆さまへお届けできている実感を持ってもらうことを目的としています。石垣島は牛肉や塩が有名ですが、同じように「サトウキビ」の知名度が上がり、地域の発展に繋がることを願っています。



石垣島トライアスロン大会の様子

社員とともに

健康で健全な環境作り

全ての社員が心身ともに健康であるために、様々な取り組みを実践しています。

日頃の「健康管理」においては、保健師（看護師）による日々の健康管理や健診後のフォロー、インフルエンザ予防接種、ストレスチェック・メンタルヘルス研修を含むEAP（従業員支援プログラム）の運用を効果的に実施し、社員自身がこころやかならだの状況について気付きを得られる取り組みを行っています。

また、昨今の課題である「新型コロナウイルス」に対する対策においては、グループ会社を含めた集団接種（職域接種）の実施や感染対策の徹底、「健康経営」においては、健康経営度調査への参加や健康保険組合と連携した各種施策を行うなど、社内の課題を速やかに把握し、対応を行っています。今後も社員の心身の健康管理の維持・向上に努めてまいります。

ダイバーシティの推進

社員一人ひとりの価値観、多様性を尊重し合い、会社の成長につなげてい

くことを目指しています。女性社員の活躍推進においては、女性社員比率が大日本明治製糖28.8%、三井製糖25.4%となっており、管理職比率は大日本明治製糖11.1%、三井製糖7.8%です。育児休業からの復帰者は100%です。今後も女性社員が活躍できるよう、キャリア開発、職場風土醸成等に取り組んでいきます。

男性社員の育児休業取得者も少しずつ増えてきています。男性も仕事と子育ての両立ができるよう、育児休業を取得しやすい環境の整備に努めていきます。また、介護離職防止に向けた「仕事介護の両立セミナー」を開催するなど、性別・年齢・障害・国籍を問わず多様な人材がいきいきと働けるよう、様々な取り組みを行っています。

人材育成

三井製糖は、社員の「自立×自律」をキーワードに、主体的に業務に取り組む自立した人材の育成を目指し、教育体系を整えています。近年、「グローバル化」や「連結経営」の展開とともに国内外を問わず様々な場所で働く機会が増

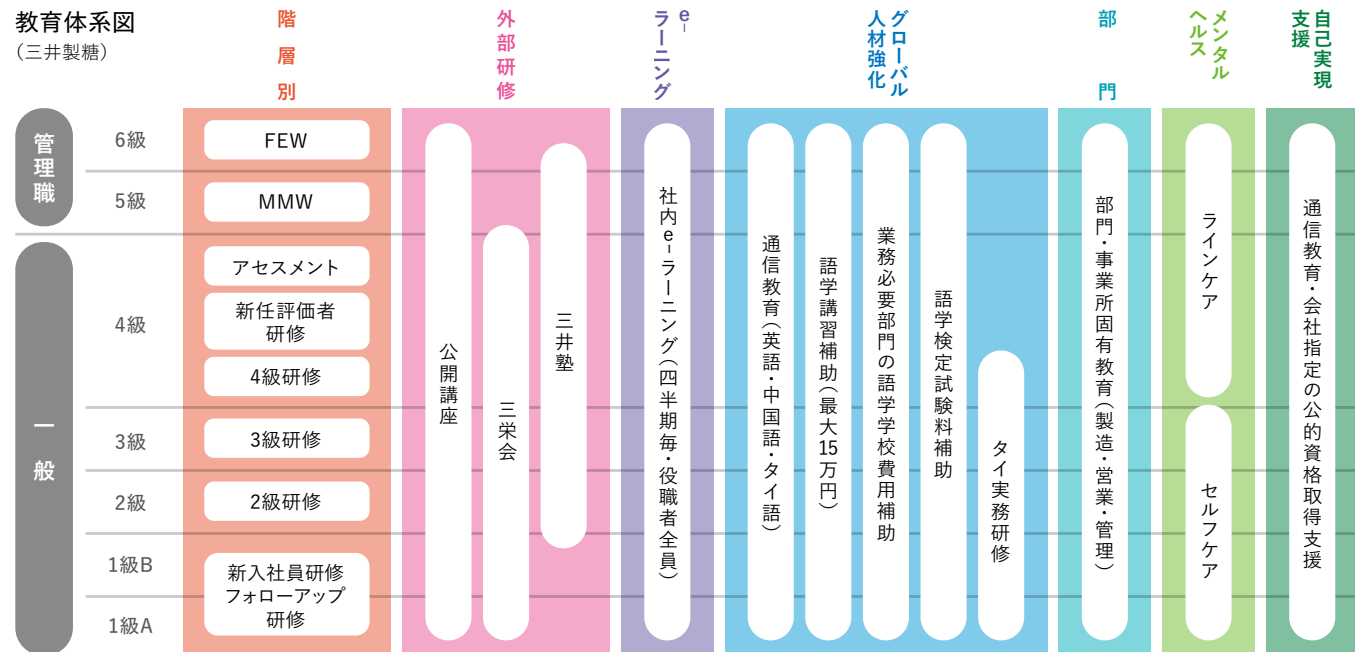
えており、専門知識や語学などの個の実力アップ、階層に則した現場でのマネジメント力の発揮が更に求められてきています。

新入社員研修時には、ビジネス英語の継続的な学習の必要性を体感する場として大日本明治製糖と三井製糖合同で「英会話研修」を実施しました。また、通信教育での語学学習機会創出や40歳未満社員に年1回のTOEIC受検の義務化を導入するなど、語学スキルの向上を図るとともに、海外への研修生派遣等、グローバルマインド醸成の機会を増やしています。また、階層別研修も定期的に行い、将来を担う人材の育成を図っています。



オンライン研修の様子

教育体系図 (三井製糖)

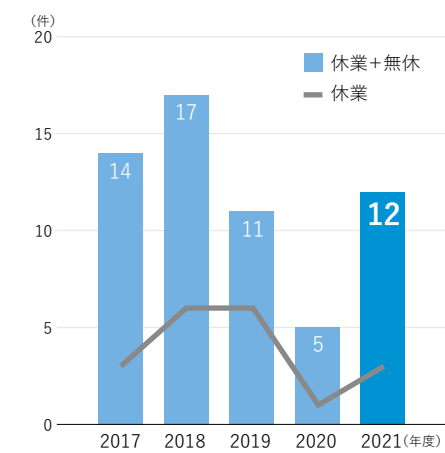


2021年度の主な取り組み

私達の労働安全衛生宣言に掲げる『三井製糖で働く人々の安全が第一と考えます』の理念に則り、2021年度は「過去に発生した労災で取られた対策が妥当であったかの検証および追加対策の実施」「第三者による安全文化レベルの測定」「コミュニケーション活性化のためのグループミーティングや新たな視点でのパトロール」「前年度に引き続き、コロナ禍を考慮したりリモートによる巡視など」に取り組みました。

ヒヤリハット・KY(危険予知)・リスクアセスメントを中心とした基本的な活動、設備や作業手順に対する導入・変更前の社内安全審査も継続して実施しています。これらの活動を通して、安全文化の更なる向上と、グループ企業全体の安全性を高めてまいります。

過去5年間の労災発生件数推移



安全巡視での現場ヒヤリングの様子

Our Safety Commitment

私達の労働安全衛生宣言

私達は三井製糖で働く人々の安全が第一と考えます。安全衛生を守るために、私達は次の事項に最善を尽くします。

Safety & Health

安全衛生は当社に関わる全ての人の仕事です

Unsafe risk control

不安全なリスクの低減に全員で取り組みます

Good management

日々、安全衛生を追求し、継続的改善に繋がります

Activity

「安全意識改革」と「安全行動」に徹します

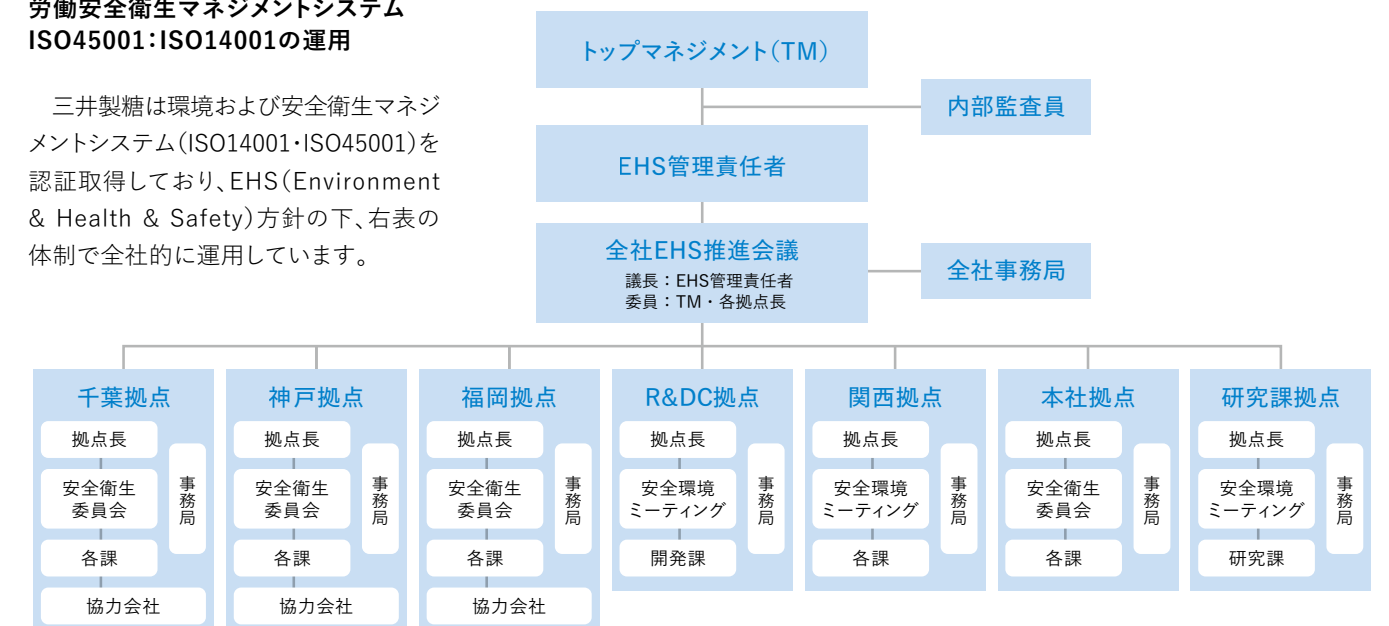
Responsibility

法令等のルールを順守します

社員の安全を最優先とした職場環境作り

労働安全衛生マネジメントシステム ISO45001:ISO14001の運用

三井製糖は環境および安全衛生マネジメントシステム(ISO14001・ISO45001)を認証取得しており、EHS(Environment & Health & Safety)方針の下、右表の体制で全社的に運用しています。



コーポレート・ガバナンス

DM三井製糖ホールディングスの行動基準

DM三井グループの企業理念「姿かたちを変えながら一生に寄り添い、幸せの時を広げる。」の追求は、社員一人ひとりの課題です。事業の源である自然への感謝を忘れずに、その恵みを様々な姿かたちにして広く社会に届け、幸せの時が広がる未来にずっと貢献できる企業グループとして、行動基準を遵守します。

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| ① 新たな価値の創造とパイオニア精神 | ⑩ 贈収賄・汚職等の禁止 |
| ② コンプライアンスと誠実さ | ⑪ 利益相反取引の禁止 |
| ③ 人権の尊重 | ⑫ 情報と知的財産権の保護 |
| ④ ダイバーシティ | ⑬ 情報の適時開示とインサイダー取引防止 |
| ⑤ 労働安全 | ⑭ 反社会的勢力との関係遮断 |
| ⑥ 品質への安全・安心の確保 | ⑮ 危機管理 |
| ⑦ 環境保全 | ⑯ 不利益取扱いと報復の禁止 |
| ⑧ 社会貢献 | ⑰ ステークホルダーとのコミュニケーション |
| ⑨ 公正で透明性のある取引 | ⑱ 適切なガバナンス体制の構築と運営 |

詳しくはDM三井製糖ホールディングスウェブサイト参照
<https://www.msdm-hd.com/company/idea/>

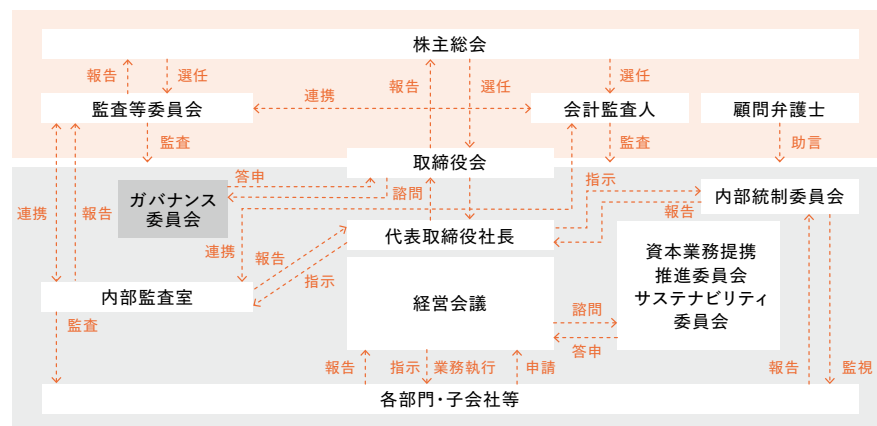
※「DM三井製糖ホールディングス株式会社 行動基準」より一部抜粋

コーポレート・ガバナンスおよび内部統制

ステークホルダーに対して、透明性が高く公正な経営を行い、コンプライアンスを重視し、迅速かつ正確に情報を開示することをコーポレート・ガバナンスの基本としています。コーポレート・ガバナンス体制は、右図「コーポレート・ガバナンスおよび内部統制に関する体制」の通りです。

継続的な企業価値向上のため、企業の社会的責任と食品会社としての「食」の安全・安心に対する責任を常に意識し、経営の意思決定の迅速化を図りながら機能的な経営組織の整備を進めるとともに、責任の明確化や効率的な経営の推進を目指しています。

コーポレート・ガバナンスおよび内部統制に関する体制



リスクマネジメント

リスク管理については、各事業部門において各種規程を整備し日常の業務遂行に関するリスクの管理を行うとともに、リスク管理担当部門が「リスク管理規則」に従い、評価、管理体制の構築および指示を行っています。災害、事故、その他重大なリスクに対する緊急対応体制については、該当担当部署が対策マニュアル整備および初期対応を行い、必要に応じて危機管理対策本部を設置し関係部門の統制を図っています。

また、「事業会社管理規程」において、三井製糖と大日本明治製糖およびその子会社の営業成績、財務状況その他の重要な情報についてDM三井製糖ホールディングスへの定期的な報告を義務づけています。三井製糖と大日本明治製糖およびその子会社のリスク管理については、「事業会社管理規程」の定めにより迅速かつ適切に対処し重要事項の指示・情報伝達を行うとともにリスクの把握・管理を行っています。

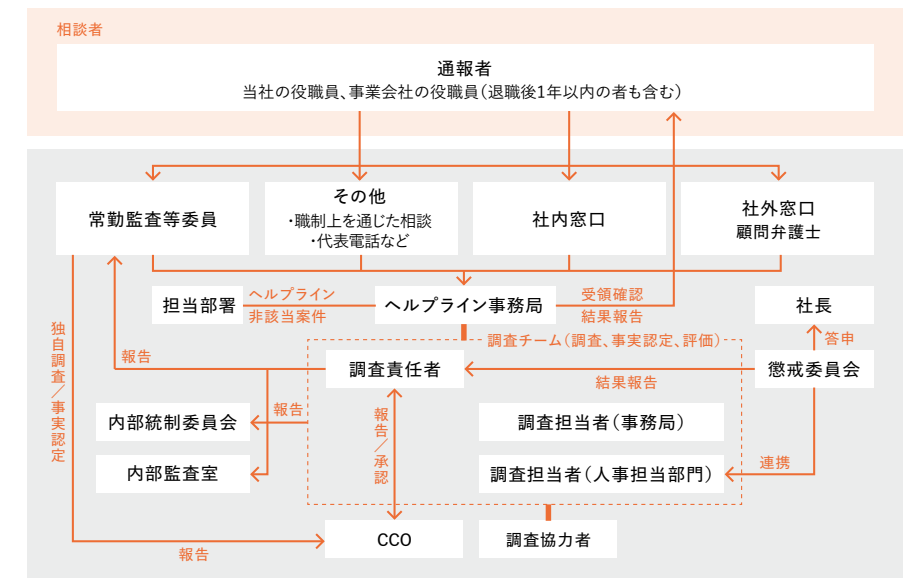
コンプライアンス

DM三井製糖ホールディングスは、企業理念を実践し、継続的に企業価値の向上を実現することで全てのステークホルダーに満足いただくことを経営の基本方針としています。この基本方針に基づき、コンプライアンス経営を強力に推進し、そのガイドラインとしてコンプライアンス・プログラムを策定しています。チーフ・コンプライアンス・オフィサー(CCO)を置くとともに、内部統制委員会および法務・コンプライアンスグループを設置し、コンプライアンス体制の推進と充実を図っています。

また、コンプライアンスに関する研修や資料の配布などを通じ、役職員などのコンプライアンスに対する知識・理解を深め、コンプライアンスを尊重する意識の向上を図っています。役職員などから、コンプライアンス違反行為およびハラスメント行為に関する相談・通報の適正な処理の仕組み(企業倫理ヘルプ

ライン相談窓口)を定め、それらの早期発見と是正を図り、DM三井グループのコンプライアンス経営を強化しています。

企業倫理ヘルプライン相談窓口

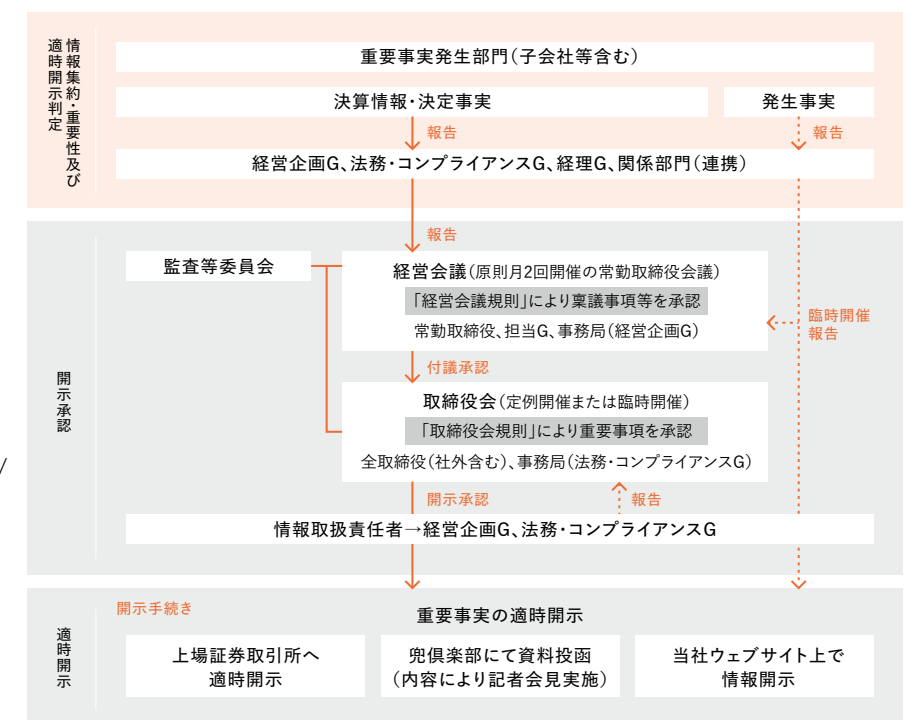


会社情報の適時開示

DM三井製糖ホールディングスの情報開示に対する基本的な姿勢は、「ディスクロージャーポリシー」に基づいており、情報開示の体制については、取締役会を最高機関とし、情報取扱責任者をはじめ社内関係部署が密接に連携し、公正かつ適時・適切な情報開示を行う体制を構築しています。また、子会社等に関する経営関連情報についても、各社から当社への迅速な報告体制を構築しています。

詳しくはDM三井製糖ホールディングスウェブサイト参照
https://www.msdm-hd.com/ir/d_policy/

適時開示体制概要



DM三井グループの事業概要

DM 三井グループ

砂糖事業

トップブランドへの信頼に応える

料理や食品加工に欠かすことのできない砂糖。DM三井グループでは、常により良い商品をお届けするために、原料糖*の調達からお客さまのお手元に届くまで一貫した品質管理を徹底するとともに、砂糖をより美味しく、より健康に摂取していただくための研究やアプリケーション開発に努めています。

*原料糖：さとうきび・てん菜から糖分をとりだし、結晶化したもの

主要商品



<p>上白糖</p> <p>しっとりソフトな風味で料理、菓子、飲み物など、何にでも合います。国内で最も多く使われている日本特有の砂糖です。</p>	<p>グラニュー糖</p> <p>クセのない淡白な甘さで、サラサラした純度の高い砂糖です。コーヒー、紅茶などの飲み物やお菓子づくりに使われます。</p>	<p>三温糖</p> <p>しっとりとして使いやすく、コクのあるやさしい風味が特徴です。上白糖と同じく、日本特有の砂糖です。</p>	<p>石垣島の美味しいお砂糖</p> <p>石垣島の自然の恵み100%で作ったおいしい砂糖。冷たいものにもさっと溶け、毎日使いたくなる砂糖です。</p>	<p>国産てん菜糖</p> <p>北海道のてん菜から作った砂糖に、てん菜糖蜜を配合しました。溶けやすい粉末でコクのあるやさしい甘さが特徴です。</p>	<p>スローカロリーシュガー</p> <p>体内でゆっくり吸収される糖質“パラチノース®”と砂糖をミックスした製品です。上白糖のようにどんな料理にも使えます。</p>
--	---	---	---	--	--

ライフ・エネルギー事業

人々の「幸せのちからになる」ことを目指す

人々のLife (生活・生命・人生)にエネルギーを与え、幸せのちからになることを目指して、素材から食品まで幅広く事業を展開しています。今後も、健康状態、世代、シーンに応じて様々な形で健康や栄養を提供できるよう研究、商品開発に努めています。



<p>さとうきび抽出物</p> <p>サトウキビから有効成分を抽出した天然の食品素材です。食品の好ましくない味の改善、不快なお臭の消臭など、様々な効果を持っているため、食品分野をはじめ環境消臭剤など、幅広い分野で使用されています。</p>	<p>パラチノース®</p> <p>砂糖からつくられる二糖類で、体内でゆっくりと消化吸収される特性があります。消化吸収速度が砂糖の約1/5であり、血糖値、インスリンの上昇も緩やかです。</p>	<p>ブイ・クレスCP10(シービーテン)ミックスフルーツ</p> <p>ビタミン12種類、鉄、亜鉛などのミネラル類とコラーゲンペプチド10,000mg配合飲料です。「床ずれを有する方の食事療法として使用できる」個別評価型病者用食品の表示許可を日本で初取得し、療養高齢者の利用が進んでいます。</p>
--	---	---

不動産事業

地域社会への貢献を目指す

暮らしに密着したメーカーとして、地域社会への貢献を目指しています。その一環として社有不動産の有効活用を図っており、不動産賃貸事業を通じて地域社会の発展に貢献しています。



主なグループ会社

DM三井グループ各社がそれぞれのフィールドで全ての人に食の楽しさを提供することを目指しています。

- DM三井製糖(株)**
精製糖並びに砂糖関連商品、機能性食品の製造・販売
- 北海道糖業(株)**
てん菜糖及び機能性食品等の製造・販売、バイオ事業
- スプーンシュガー(株)**
砂糖の包装・荷役・製袋、加工糖の製造
- 生和糖業(株)**
原料糖の製造・販売
- 石垣島製糖(株)**
原料糖の製造・販売
- 鳳氷糖(株)**
氷砂糖の製造・販売
- 日糖産業(株)**
紙袋・合成樹脂製品の製造・販売
- ダイヤモンドクリエーション(株)**
砂糖類及びその他糖類、食料品の仕入・販売
- 関門製糖(株)**
砂糖の製造加工
- (株)平野屋**
食品等の販売
- SIS'88 Pte Ltd**
精製糖のコンシューマーパック事業
- Asian Blending Pte Ltd**
加工糖等の製造・販売

他1社

- DM三井製糖(株)**
精製糖並びに砂糖関連商品、機能性食品の製造・販売
- 北海道糖業(株)**
てん菜糖及び機能性食品等の製造・販売、バイオ事業
- (株)タイショーテクノス**
食品添加物等の製造・販売
- ニュートリー(株)**
栄養療法食品及び嚥下障害対応食品などの開発、製造及び販売

- DM三井製糖ホールディングス(株)**
不動産の賃貸及び太陽光発電による電気の供給・販売

- 明糖倉庫(株)**
発券倉庫、構内荷役、運搬

他1社

DM三井製糖ホールディングス会社概要

商号	DM三井製糖ホールディングス株式会社 (Mitsui DM Sugar Holdings Co., Ltd.)	
本社所在地	東京都中央区日本橋箱崎町36番2号	
代表者	代表取締役社長 森本 卓	代表取締役副社長 佐藤 裕
		代表取締役副社長 野村 淳一
設立日	1947年(昭和22年)9月4日	
資本金	70億8,300万円	
発行済株式総数	32,639,780株	
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場	
主要事業	グループ経営管理事業、不動産事業、 資産管理事業	
年間売上高 (2022年3月期)	(連結) 1,478億8,000万円	(単体) 37億8,100万円
従業員数 (2022年3月期)	(連結) 1,482名	(単体) 41名
		(2022年10月1日現在)

事業所・関係会社

DM三井製糖ホールディングス

HD 事業所

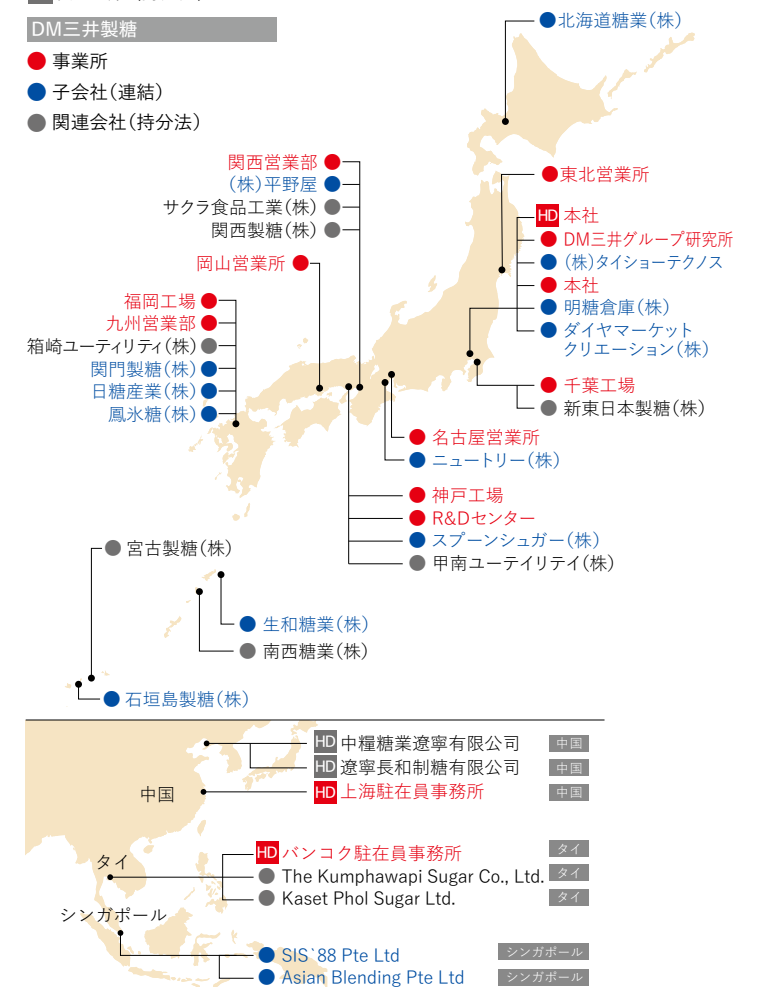
HD 関連会社(持分法)

DM三井製糖

● 事業所

● 子会社(連結)

● 関連会社(持分法)



2022年10月1日 現在

ファクトデータ

三井製糖株式会社

※3工場：千葉工場、神戸工場、福岡工場
※オフィス：本社、東北営業所、研究開発部、関西営業部、名古屋営業所、岡山営業所

指標	単位	2019年度	2020年度	2021年度	備考
環境					
エネルギー関連					
エネルギー原単位	GJ/t	4.99	5.05	4.96	3工場
CO ₂ 排出量	t	76,364	65,665	68,599	3工場
オフィスエネルギー使用量	GJ	4,193	3,634	3,082	オフィス
ガソリン使用量	kl	16.95	14.77	13.24	全事業所
水資源					
用水使用量	千m ³	1,987	1,866	1,888	3工場
排水量	千m ³	1,531	1,493	1,526	3工場
間接冷却水使用量	千m ³	34,757	31,653	31,838	3工場
大気					
フロン排出量	t	88	30	302	3工場
大気汚染負荷量	kg	20.08	17.32	18.89	3工場
排出物					
廃棄物量	t	8,840	8,264	8,467	3工場+R&Dセンター
埋立・焼却量	t	328	307	290	3工場+R&Dセンター
廃棄物リサイクル率	%	96.3	96.3	96.5	3工場+R&Dセンター
オフィス他廃棄物量	t	33	104	22	オフィス+研究開発
その他					
コピー用紙購入量	千枚	1,469	1,104	990	全事業所
グリーン購入率	%	66.2	66.1	67.3	全事業所

社会

指標	単位	2019年度	2020年度	2021年度	備考
雇用					
従業員数	人	418	416	401	三井製糖からの出向者、嘱託社員、パート社員を含む
平均年齢	歳	43.2	43.6	44.2	
平均勤続年数	年	19.3	19.8	19.6	
新卒採用者定着率	%	100.0	92.3	93.3	入社社員の3年後定着率
離職率	%	2.1	2.6	2.2	定年退職、嘱託社員、パート社員を除く
ダイバーシティ					
社員における女性の割合	%	24.3	24.8	25.4	
新卒者における女性の割合	%	46.2	50.0	57.1	
管理職社員における女性の割合	%	6.9	7.5	7.8	
定年再雇用率	%	100.0	100.0	75.0	三井製糖グループ内勤務を含む
障がい者雇用率	%	1.9	2.1	2.2	
職場環境					
年間平均総実労働時間	時間	1,962	1,955	1,978	1人当たり平均労働時間(時間外含む)
月平均所定外労働時間	時間	15.4	14.8	17.4	組合員のみ
有給休暇取得率	%	68.0	59.9	60.8	社員及び嘱託社員
育児休業取得者数	人	8	4	3	
男性	人	4	2	3	
女性	人	4	2	0	

指標	単位	2019年度	2020年度	2021年度	備考
職場環境					
育児休業復職率	%	100.0	100.0	100.0	
育児短時間勤務者数	人	5	8	8	
労働安全衛生					
労働災害発生件数	件	11	5	12	労働安全衛生マネジメントシステム認証範囲

大日本明治製糖株式会社

※堺事業所は2021年3月末で譲渡

指標	単位	2019年度	2020年度	2021年度	備考
環境					
エネルギー関連					
オフィスエネルギー使用量	GJ	3,782	3,631	911	オフィス
ガソリン使用量	kl	3.00	2.00	2.21	全事業所
排出物					
廃棄物量	t	494	508	7	堺事業所+研究開発
埋立・焼却量	t	-	-	1	堺事業所+研究開発
その他					
コピー用紙購入量	千枚	740	557	421	全事業所
グリーン購入率	%	-	-	44.9	全事業所

社会

指標	単位	2019年度	2020年度	2021年度	備考
雇用					
従業員数	人	158	150	103	大日本明治製糖からの出向者、嘱託社員、パート社員を含む
平均年齢	歳	43.1	45.5	44.2	
平均勤続年数	年	17.0	15.4	17.2	
新卒採用者定着率	%	100.0	100.0	100.0	入社社員の3年後定着率
離職率	%	0	0.7	1.9	定年退職、嘱託社員、パート社員を除く
ダイバーシティ					
社員における女性の割合	%	28.4	27.4	28.8	
新卒者における女性の割合	%	40.0	0	100.0	
管理職社員における女性の割合	%	9.4	9.1	11.1	
定年再雇用率	%	100.0	100.0	100.0	大日本明治製糖グループ内勤務を含む
障がい者雇用率	%	1.9	1.9	0	
職場環境					
年間平均総実労働時間	時間	1,801	1,952	2,044	1人当たり平均労働時間(時間外含む)
月平均所定外労働時間	時間	8.9	14.1	13.0	組合員のみ
有給休暇取得率	%	64.3	52.9	58.0	社員及び嘱託社員
育児休業取得者数	人	0	0	1	
男性	人	0	0	0	
女性	人	0	0	1	

DM三井製糖ホールディングス株式会社

ガバナンス

※2020年度までは三井製糖の数値 ※2021年4月1日付で監査役会設置会社から監査等委員会設置会社に移行

指標	単位	2019年度	2020年度	2021年度
取締役会				
取締役数	人	8	9	10
社内	人	4	5	4
男性	人	4	5	4
女性	人	0	0	0
社外	人	4	4	6
男性	人	3	3	5
女性	人	1	1	1
取締役会開催回数	回	13	15	13

総括コメント

DM三井製糖ホールディングス株式会社
サステナビリティ委員会委員
(株式会社日本総合研究所 常務理事)

足達 英一郎



新会社初のサステナビリティ報告書として

「DM三井製糖ホールディングス」として作成するはじめての「サステナビリティ報告書」を、ステークホルダーの皆さまにお届けします。本報告書の対象はDM三井製糖ホールディングス株式会社、三井製糖株式会社、大日本明治製糖株式会社の2021年度の主要活動実績で、「お客さま」「環境」「社会」という3つのカテゴリにより分類し、可能な限り統一した様式で開示しています。当該期間においては、各社の「サステナビリティ」をめぐる方針、施策項目、進捗管理は、必ずしも十分に整合的なものとはなっておらず、ベンチマークすべき、わが国上場企業の自主的情報開示と比較して、量・質ともに一層の拡充を果たす必要があると認識しています。

2022年度の活動報告に当たっては、報告対象とする組織範囲(バウンダリー)の拡大、新たなKPIの積極的な導入、ステークホルダーとの双方向コミュニケーションの重視などを図っていきたく考えています。あわせて、TCFD提言に準拠した開示、統合報告書としての発行も展望してゆきます。

自然からの恵みを常に意識している企業風土

本報告書に関係するとともに、この間、DM三井グループの従業員の皆さんと接点を持たせていただくなかで、多くの皆さんが「自社の社会的責任とは何か」「地球と社会の持続可能性(サステナビリティ)のために、自分たちは何ができるのか」に高い感度を有しておられることが強く印象に残っています。

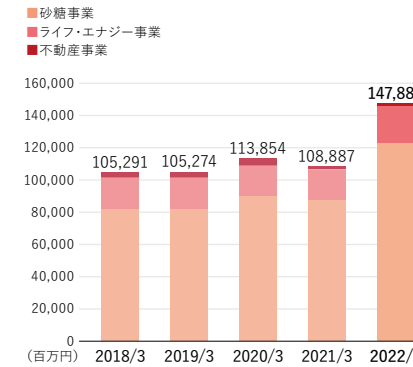
その理由は、本号でも触れられているとおり、サトウキビやてん菜を代表とする自然の恵みとして生まれた原料をもとに製品が製造されているからであり、その製品のほとんどが、人間が口にする「食」に関連したものであるからだと理解することができます。DM三井グループの事業は、気候変動、水資源保護、廃棄物、食品安全、健康促進・栄養改善など密接に結びついており、事業上の工夫や革新が、将来の大きな機会に結びつく余地を有していることを物語っています。

今後、経営戦略や事業計画と一体となった具体的施策の策定を進めるうえで、サステナビリティに高い感度を有している企業風土は、大きな強みになると感じます。自らが業界をリードするトップカンパニーであることを十分に認識し、社会からの期待に応えるべく素早く対応するDM三井グループの姿に、どうか期待を頂きたいと思えます。

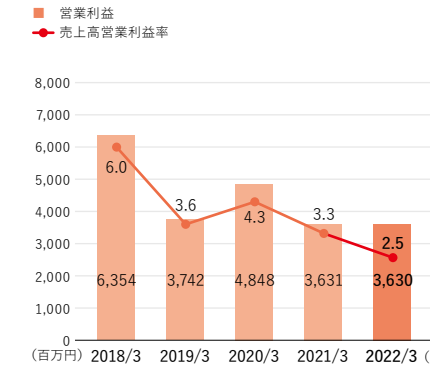
財務情報

*2021/3月期までは三井製糖の連結数値。

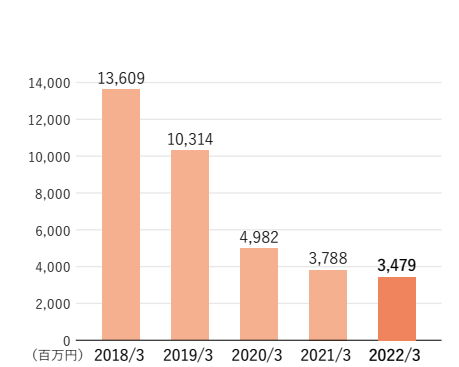
売上高



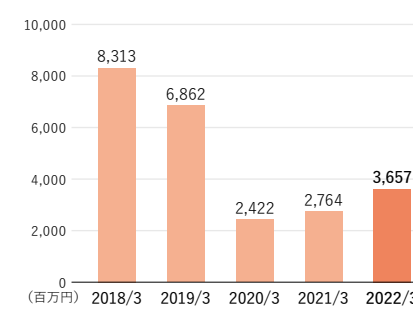
営業利益・売上高営業利益率



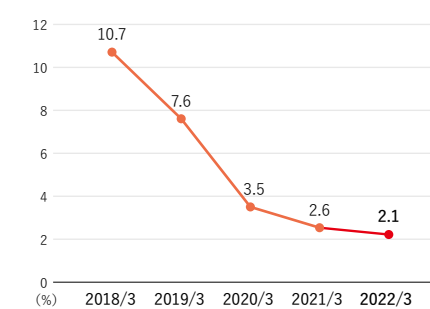
経常利益



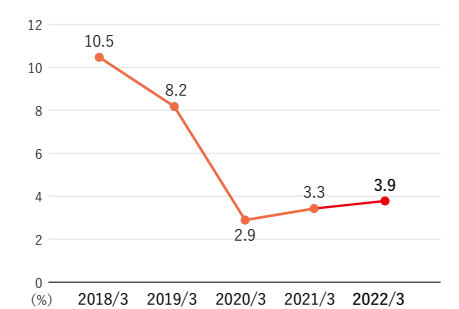
親会社株主に帰属する当期純利益



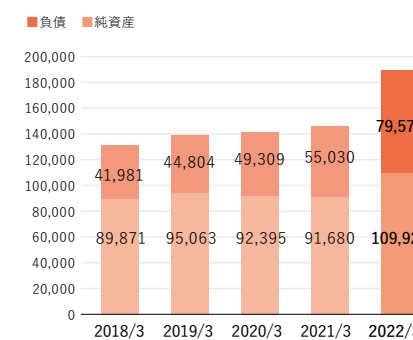
ROA 総資産経常利益率



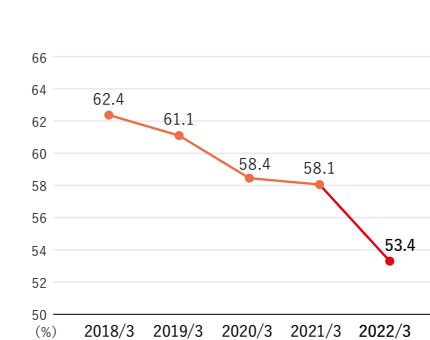
ROE 自己資本当期純利益率



負債・純資産

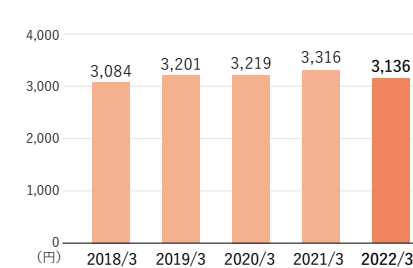


自己資本比率

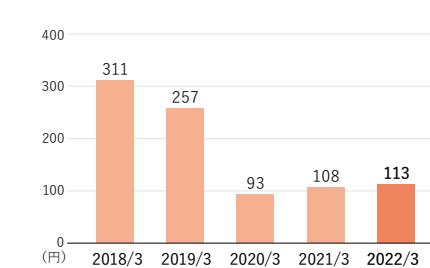


株価指標

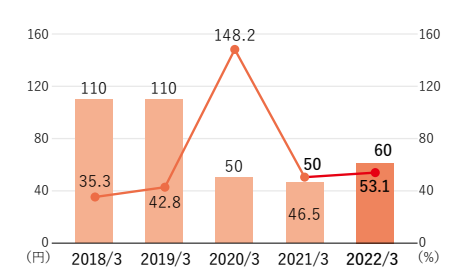
1株当たり純資産



1株当たり当期純利益



1株当たり配当金・総還元性向





サステナビリティ報告書2022へのご意見を募集します

「サステナビリティ報告書2022」の内容やDM三井製糖ホールディングスの社会環境活動についてのご意見・ご感想は、DM三井製糖ホールディングスホームページまでお寄せください。




<https://www.msdm-hd.com>

画面最上段の[]内にあるお問い合わせ先よりご意見をお寄せください。

発行元

※社の方からになる

 DM三井製糖ホールディングス株式会社

サステナビリティ推進室

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町36番2号 TEL (03) 3663-6692



この報告書の印刷で使用する電力500kWhはサトウキビのバガスによるバイオマス発電のグリーン電力を利用しています。

「DM 三井製糖ホールディングス株式会社 サステナビリティ報告書 2022」の訂正について

(2022年12月19日)

記載内容に一部誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

P18 大日本明治製糖のエコバランス (2021年度)

(修正前)



(修正後)

